

1. 目指す学校像

建学の精神である「力の人」、そして「高い志」「豊かな感性」「他への思いやり」という3つの教育理念を踏まえ、主体的に未来を創る女性を育てる。

「自学主義」の伝統に則り、知識蓄積と知識活用を両輪に「対話的で深い学び」を軸とした、21世紀型の学力を身につける授業を展開する。

2. 中期的目標

5ヶ年計画（2021～2025）

1. エンロールマネジメントの強化
2. 教職協働の強化
3. 財務基盤の強化

上記3点を目標に改革を進める。

1. エンロールマネジメントの強化

（1）生徒指導力の強化

- ① 創発講座の充実とアクティブラーニングの強化
- ② エンロールマネジメントによる募集と進路のリンク
- ③ 多様な進路への対応
- ④ 生徒の基本的な生活習慣の確立

（2）学習環境の増強

- ① ラーニングコモンズ第二期工事
- ② ICT環境の整備

（3）教科指導力の向上

- ① 大学入学共通テスト等の研究
- ② 高い教育力・授業力の実現

（4）生徒学力の向上

- ① コースに応じた目標設定

2. 教職協働の強化

（1）教職協働の促進

- ① 教員・事務職の業務相互乗り入れ
- （2）ガバナンスの強化
- ① 教員の業務量および労働時間の適正化

（3）教育環境の整備

- ① 適正な教室数の確保と教育環境の改善

3. 財務基盤の強化

（1）入試募集の強化

- ① 安定した中学入試募集による予算基盤の強化
- ② 安定した高校入試募集による予算基盤の強化

自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見

自己評価アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>本校では「部署毎の年度総括」「保護者評価アンケート」「生徒授業アンケート」の3種類の資料を元に自己判断を行っている。</p> <p>(1) 教育課程について 教育課程の適切な整備については、80%が肯定的な意見となり、前年度とほぼ同水準だった。進路指導体制については67%が肯定的な意見とやや減少した。コース毎に進路指導の精度を高め、満足度のさらなる向上に努める。</p> <p>(2) 学習指導について 学力向上や学習内容の定着について、68%が肯定的な意見を述べており、昨年と同水準だった。教育研究委員会の主催による授業見学と相互評価を有効に活用して、教員全体の授業力強化に努める。</p> <p>(3) 進路指導について 進路指導の充実、進路情報の提供について、肯定的な意見は69%と微増した。生徒・保護者対象の進路説明会や各大学を招いての相談会の数を充実させ、時宜に応じた適切な情報の提供に努める。</p> <p>(4) 生徒指導について 生活指導の充実、人権教育の充実、差別やいじめの防止に関する肯定的な意見は一昨年と同水準の76%だった。時代に応じた生徒主体のルール作りを意識しながら、適切な指導を継続していく。</p> <p>(5) 課外活動について 部活動と学習の両立は昨年と同水準の78%だった。学校行事の充実に対する肯定的な意見は65%であり、イベントへの保護者の来場機会を増やすなど満足度を高めるよう努めていく。</p> <p>(6) 安全管理 登下校の安全や交通マナーに関する指導は肯定的な意見が84%と高い水準を維持した。施設の安全性と衛生的な管理は肯定的な意見が94%と昨年比でさらに増加し、生徒・保護者の高い満足がうかがえる。</p> <p>(7) 情報発信 授業参観やPTA行事についての満足度は85%となり、昨年、一昨年に続き上昇傾向である。学校からの情報発信についても87%と高い水準を維持し、出欠連絡をClassiに一本化するなどの新しい取り組みに一定の評価が見られる。</p> <p>(8) その他 入学させてよかったとの意見は80%を越え、ここ数年は高い水準を維持している。教員間の一貫した対応について、肯定的な意見が70%と前年並みだった。学校全体として、生徒・保護者のさらなる満足度向上を目指す。</p>	<p><自己評価に対して></p> <p>(1) 教育課程について ・カリキュラム編成をはじめ、ICTによる学習環境が整っており、アクティブラーニングを実現するための設備がある。 ・授業の質が高く、子供たちが主体的に学ぶ環境が整っている。ICTも効果的に使われ、時代に即した教育が行われている。</p> <p>(2) 学習指導について ・担任に教科以外の質問をしたら、教科担当から連絡がありました。先生方の情報共有の徹底と丁寧な対応に驚きました。</p> <p>(3) 進路指導について ・手厚い指導は素晴らしいが、ある程度は苦労や失敗をさせつつ、経験とともに自分の道を選んでほしいと思う。</p> <p>(4) 生徒指導について ・生徒指導の項目で75%以上が達成されている。引き続き、自律的に行動して追究する生徒の育成を推進してほしい。 ・色々な先生に相談しやすい雰囲気があり、カウンセラーを配置するなど、生徒指導の面で優れた環境を実現している。</p> <p>(5) 課外活動について ・学校行事は年間を通じて多様に企画され、子供たちが多くの経験を積むことができる環境が整っている。 ・他校に比べると校外学習や宿泊などの行事が少ないという印象があります。</p> <p>(6) 安全管理 ・日々生徒が使用する食堂エリアの改装をととても楽しみにしています。衛生面、感染予防のために、トイレと手洗い場の数を増やしてほしい。</p> <p>(7) 情報発信 ・実際に通わせて感じている帝塚山学院の強みを、高い広報力で受験生と保護者にしっかり伝えていと感じます。</p> <p>(8) その他 ・一部のコースでiPadが導入されているが、生徒の要望も多いことから全コースへの普及を希望します。</p> <p><保護者による学校評価について(過年度比較)> ・最先端の設備を使用し、生徒の探究心を強く後押ししてくれる環境には保護者として誇りを感じます。</p>

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

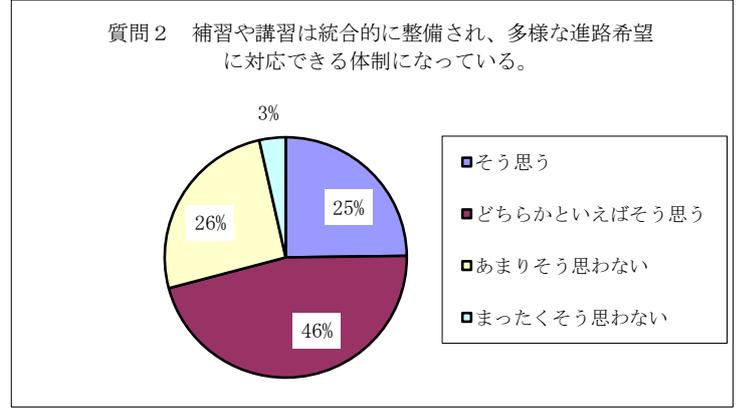
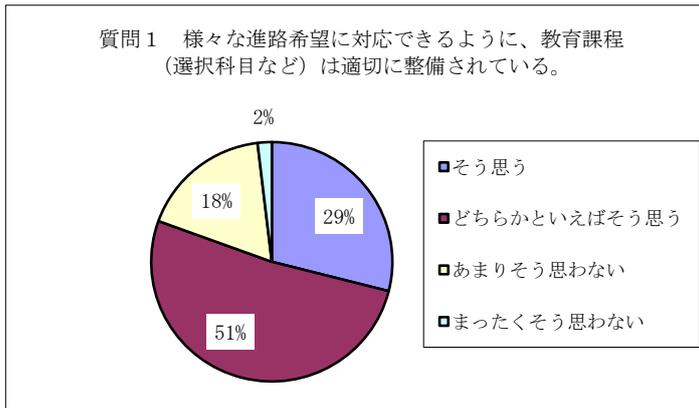
中期的 目標	今年度の 重点目標	具体的な 取り組み	評価指標	自己評価	課題と改善策
1 (1) 生徒指導力の強化	①創研究講座の充実とアクティブラーニングの強化を目指す。	①創研究講座において、学部 に紐づいた講座数を維持 するとともに、オープンラ ボとして開設したアクリ オSを活用し、理科教育の さらなる充実を図った。	①学校運営会議 による検討および創研究 講座委員会との協議およ び保護者アンケート「学 習指導」項目満足度 70%	①創研究講座へ外部講師 を招くとともに、アクリ オSでの理科実験教室開 催など、理系分野を充実 させ、総合型選抜入試で 必要となる思考力を養 う取り組みを行った。保 護者アンケートは68% で、前年と同水準だっ た。	①引き続き講座内容を 精査し、必要な講座の 開設を行う。保護者アン ケートは満足度70%を 越えることを目指す。
	②エンロールメントマネジメントによって募集と進路の情報をリンクさせる。	②エンロールメントマネ ジメントの一環として、 様々な分野に就職した卒 業生を招いて、生徒向け の講座やインタビューを 実施し、社会につながる トランジション教育の 検証を引き続き行った。	②エンロールメント マネジメント委員会と 進路指導部による分析 および保護者アンケート 「進路指導」項目満 足度70%	②創研究講座に関する インタビューを卒業生に 行うとともに、講師とし て同講座への参加を依 頼し、在校生へのフィ ードバックを行った。保 護者アンケートは67% で、微減する結果とな った。	②卒業生へのインタビ ューから講座内容や在 校生の進路に向けたフ ィードバックを行い、指 導の改善に取り組む。保 護者アンケートは満足 度70%を越えることを 目指す。
	③コース毎の多様な希望に応じた、きめ細かい進路指導を行う。	③多様化する大学入試 の実態にあわせて、外部 講師による面接指導や、 推薦書などの出願書類 添削を進路指導部で体 系立てて実施した。ま た、昨年に引き続き、 コースに合わせた学 内説明会やキャリアガイ ダンスを開催した。	③エンロールメント マネジメント委員会と 進路指導部による分析 および保護者アンケート 「進路指導」項目満 足度70%	③アクリオSなどのラ ーニングコモンズを活 用しながら、自己推薦 型入試に求められる経 験や実績を持つ生徒の 育成を行った。また、 外部講師や進路指導部 による個別指導の充実 を図った。	③総合型選抜入試や共 通テストの科目増など 、引き続き入試の変化 へ即応できる体制を整 えていく。保護者アン ケートでの進路指導へ の満足度70%越えを 目指す。
	④生徒各自に行動を考えさせ、自律的に行動できる指導を行う。	④生徒が社会の中で自 分らしく生きる大人へ と成長するよう、適切 な援助や指導を行うた めの体制整備を行った。 以下の3点を課題とし た。 1. 学年集会・全体朝 礼を通じて、災害など の非常事態に対応する 「集団考動力」を構築 する。 2. 自治会・生徒会と 教員が学校の課題につ いて話し合う場を設け 、よりよい学校生活を サポートする。 3. いじめ・校則違反 ・非行などを事前に防 ぐ取り組みを生徒指導 部と学年団で話し合い 、生徒向けのオリエン テーションを行う。	④生徒指導部の 年間計画および保護 者アンケート「生徒指 導」項目満足度 80%	④以下の3点を生徒指 導部で実施した。保護 者アンケート「生徒指 導」項目は昨年度と ほぼ同水準の76% となった。 1. 学年集会、アリー ーナ朝礼、全校朝礼を 段階的に再開した。 2. 生徒自治会の働き かけによって、ネク タイピンを時代に即 したものに変更した。 3. 情報リテラシー教 育として、「携帯電話 の使い方」をテーマ に外部講師を招いた 講話を開催した。	④生徒自らが学校に 誇りを持てるように、 生徒会・自治会にお ける公約の実現など、 生徒の自主性をはぐ くむ教育を目指す。 保護者アンケートに おいては、肯定的な 意見が80%に届く よう努力する。

中期的 目標	今年度の 重点目標	具体的な 取り組み	評価指標	自己評価	課題と改善策
1(2)学習環境の増強	<p>①アクティブラーニングを強化するため、さらに施設を拡充する。</p> <p>②ICT 環境をさらに整備し、校内Wi-Fiの有効利用を目指す。</p>	<p>①ラーニングcommons第四期工事として、物理室を改装し、理科室全体がオープンラボエリアとして完成した。</p> <p>②リースおよび購入によるノート PC の所持が中学全学年と高1になり、創研講座や授業での調べ学習やレポート作成に活用した。</p>	<p>①管理職と各部長で構成する学校運営会議での議論および保護者アンケート「安全管理」項目満足度 90%</p> <p>②管理職と各部長で構成する学校運営会議での議論および保護者アンケート「安全管理」項目満足度 90%</p>	<p>①8月に物理室の改装を行ったことで、昨年改装した化学室・生物室とひとつながりに拡張され、アクリオSのオープンラボ機能がさらに充実した。施設・設備に関する保護者アンケートは94%と非常に高い満足度が見られた。</p> <p>②新入生へのPCリースと購入を継続しながら、一部のコースにiPadを導入し、特別教室に縛られない授業での運用を開始した。保護者アンケートは目標を達成した。</p>	<p>①次年度は老朽化した食堂エリアの改装を行い、生徒たちの学校生活について更なる質的な向上を図る。保護者アンケートは、満足度の維持を目指す。</p> <p>②2年後の全学年ノートPC所持に向けて、校内でのICT環境および授業内容の充実を図る。保護者アンケートの満足度維持を目指す。</p>
1(3)教科指導力の向上	<p>①新学習指導要領および大学入試共通テストの研究を継続する。</p> <p>②コース毎に必要なとされる高い教育力・授業力を実現するため、個々の教員の指導力向上に努める。</p>	<p>①国公立大学にて広がりを見せる総合型選抜入試について、各大学の過去問蓄積および分析を実施し、指導に役立てた。また、2025年より始まる「情報」の共通テスト導入に関して、カリキュラムの微調整を行った。</p> <p>②大学入試共通テストの出題傾向について、各教科で独自に分析し、レポートを作成した。また、総合型選抜入試に対応できる生徒を育てるべく、各教員が授業内容の改善に努めた。</p>	<p>①エンrollmentマネジメント委員会と教務部による分析および保護者アンケート「教育課程」項目満足度 80%</p> <p>②学校運営会議による検討および教務部と各教科会との協議および保護者アンケート「学習指導」項目満足度 70%</p>	<p>①共通テスト変更の当該学年である高2生を対象に「情報」の演習授業および講習を設定し、想定される学力の涵養に努めた。また、windows11に対応した新たな教務システムを導入した。保護者アンケートの満足度は80%となり、目標を達成した。</p> <p>②通常の授業に加えて、課題や動画の配信、授業内容のフォローアップ、欠席生徒への連絡など、Classiによるきめ細かな対応を行った。保護者アンケートの満足度は68%となり、目標をやや下回った。</p>	<p>①「情報」については模試等を通じて想定される問題難度の把握を行う。新しい教務システムは1年間を通して運用する中で、必要なプログラムの微調整を行う。保護者アンケートの満足度は、引き続き目標達成の数値を目指す。</p> <p>②5教科においてデジタル教材やパワーポイントを効果的に利用し、指導の効率を高める方法を教員間で共有していく。保護者アンケートの満足度は70%を目指す。</p>
1(3)生徒の学力向上	<p>①英検取得や模試偏差値などコースの特性に応じた目標設定とその達成を目指す。</p>	<p>①各生徒が目標とする進路を達成するため、模試成績や各種検定の取得状況を体系的にデータ化し、コース毎の特徴に応じて、必要な指導が必要なタイミングで実施した。</p>	<p>①エンrollmentマネジメント委員会による分析および保護者アンケート「教育課程」項目満足度 80%</p>	<p>①進路指導部の模試分析会と担任による面談で各生徒の成績と志望を把握し、個々が希望する進路の実現をサポートした。エトワールでの国立大学合格者は4年連続で30%を越えるなど、コース毎の進路状況に対応できた。保護者アンケートの満足度は80%を達成した。</p>	<p>①生徒・保護者との面談を行い、希望の多い私立大学・国公立大学を招いての説明会を開催する。また、進路指導部主導で志望理由書や小論文の添削指導を行い、総合型選抜入試等での合格率向上を図る。保護者アンケートでは、満足度の維持を目指す。</p>

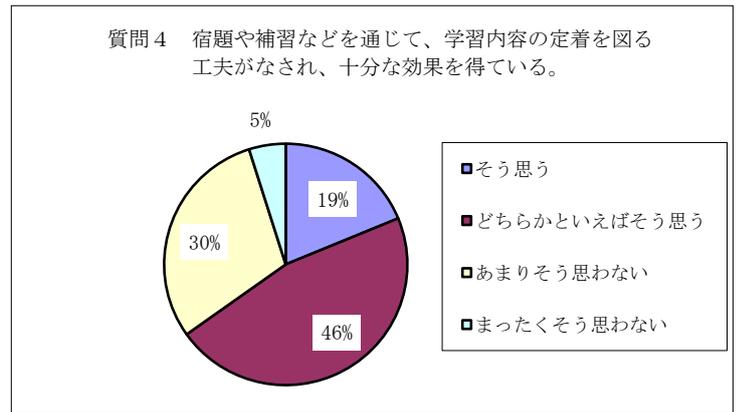
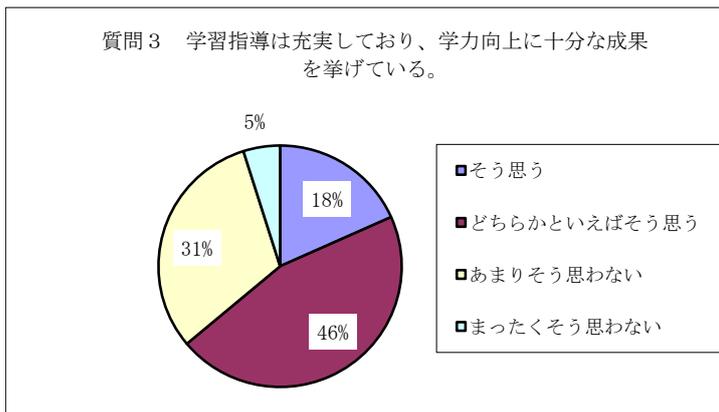
中期的 目標	今年度の 重点目標	具体的な 取り組み	評価指標	自己評価	課題と改善策
2 (1)教職協働の促進	①事務機能を強化し、教職協働をさらに促進する。	①教頭と事務長の情報共有を密に行い、施設改装を始めとする様々な業務を円滑化に行った。	①法人本部・教頭・事務局による協議	①物理室の改装や人事採用を含めて解決すべき課題の共有を行い、必要な業務を円滑に進めることができた。	①次年度は、食堂改装の実現を目指す。引き続き、解決すべき課題の発見や業務のさらなる効率化を図る。
2 (2)ガバナンスの強化	①働き方改革に伴い、教員の業務量および労働時間の適正化を図る。	①前年度に引き続き、各教員に関して月毎の労働時間を把握し、一定水準を越えた者に対しては教頭による面談を行い、アサインする業務内容の調整を適宜実施した。	①教頭・法人本部とのワーキンググループによる協議	①月毎に長時間労働の教員に対してワーキンググループによるヒアリングを行い、適正な働き方の実現に向けて業務量とその内容の見直しを適宜行った。	①同様の取り組みを継続し、教員のワークライフバランスを維持しながらも、生徒・保護者の満足度を高めることのできる職場環境の構築を目指す。
2 (3)教育環境の整備	①生徒数に対して適正な教室数を確保する。	①生徒にとって快適な学習環境を整えるため、必要な施設の改装を行った。	①管理職および学校運営会議による協議と保護者アンケート「安全管理」項目満足度 90%	①アクリオSの2期工事として、物理室の改装を行った。暗室等の機能を維持したまま、オープンスペースを実現できた。保護者アンケートは 94%と高い水準となった。	①食堂エリアの改装と拡張を行い、すべての生徒にとって利用しやすい居心地のいい環境の実現を目指す。
3 (1)入試募集の強化	①中学募集における入試行事を早期実施し、開催回数を増やす。 ②高校募集での入試行事参加者を増やし、受験者数の上昇を目指す。	①入試イベントの収容人数や実施回数をコロナ前の状況に戻し、接触者数の前年比での増減把握に努めた。 ②公立中学への訪問を適宜行い、入試行事での接触者へはメール等での入試情報提供を行った。	①入試広報部とアドミッションセンターによる分析および保護者アンケート「その他」項目満足度 80% ②入試広報部とアドミッションによる分析	①入試イベントの実施回数や収容人数をコロナ前の状況に戻したが、接触者数を微増で推移させることができた。「この学校に入学させて良かった」と回答した保護者は 80%を越えた。 ②公立中学校へオープンスクール等の入試行事リーフレットを送付し、教員による訪問を適宜行った。入試イベントの接触者は昨年比で横ばいに推移した。	①引き続き、入試行事の頻度と内容を精査しながら、少子化が進行していく中での入学者数確保を目指す。 ②私学の全面無償化を受けて、本校の魅力をアピールすることで、受験者の安定した確保を目指す。

＜2023年度 帝塚山学院中学校高等学校 保護者による学校評価アンケート結果＞(委員十一般)

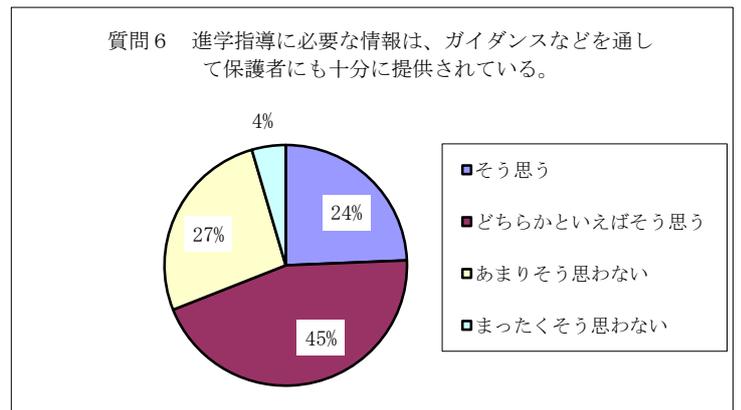
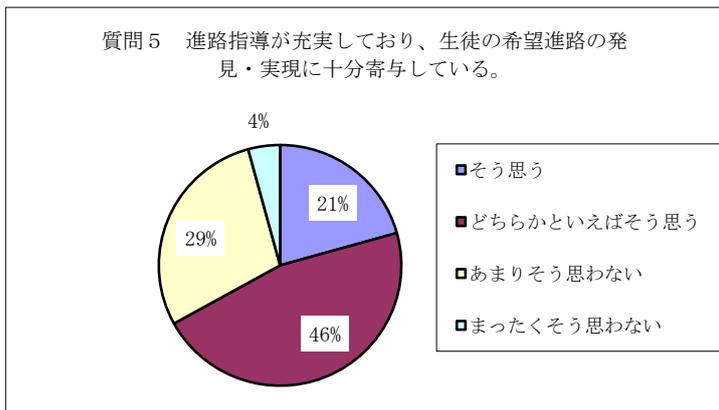
＜教育課程＞



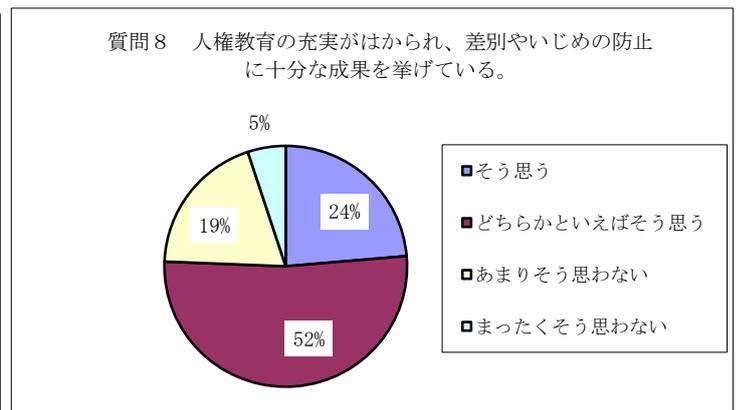
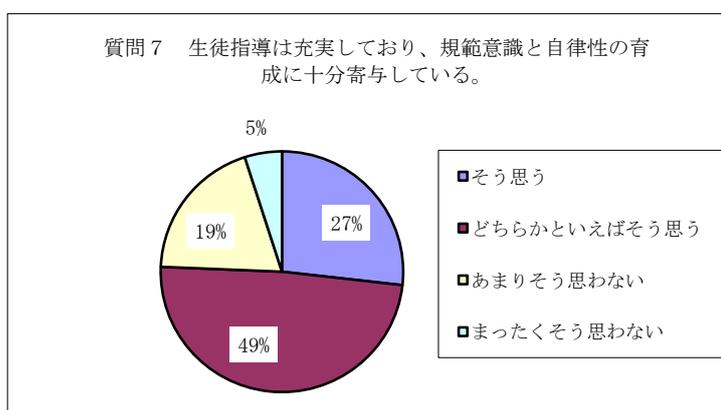
＜学習指導＞



＜進路指導＞

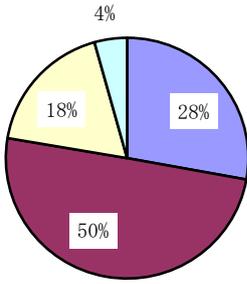


＜生徒指導＞



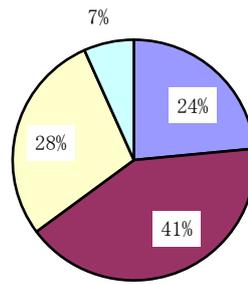
<課外活動>

質問9 部活動は学習との両立について配慮がなされているとともに、生徒に十分な指導が行われている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

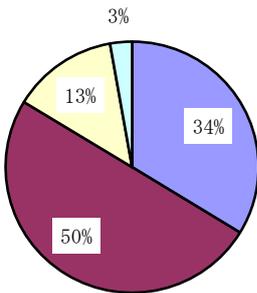
質問10 学校行事は充実しており、生徒の自主性の育成に役立っている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

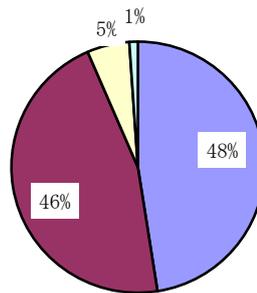
<安全管理>

質問11 登下校の安全や交通マナーに関する指導が、十分なされている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

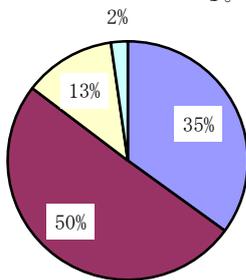
質問12 施設・設備は安全かつ衛生的に管理・整備がなされている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

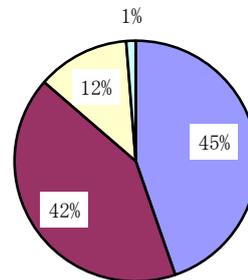
<情報発信>

質問13 授業参観やPTA行事は適切な頻度で行われており、学校の様子をうかがい知る機会として機能している。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

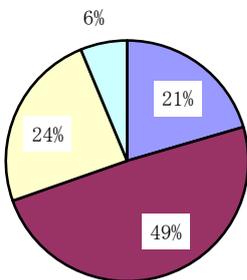
質問14 学校からのお知らせ文書などを通じて、必要な情報を不足なく得ることができる。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

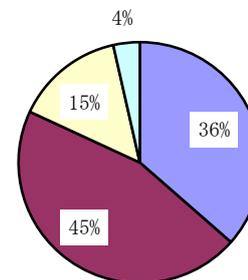
<その他>

質問15 教員はチームワークがとられており、どの教員に相談しても、一貫した対応が期待できる。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

質問16 この学校に入学させてよかった（知り合いや親戚にもこの学校を勧めたい）と思う。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない